

エスキューブがラベル方式で取り付けも容易にした自鳴式万引き防止システム用ミニタグの販売を開始～日本最小クラスの小型軽量化を実現～

㈱エスキューブ（本社：東京都千代田区、佐藤 昭社長、旧クボタセキュリティ㈱）は、日本最小クラスの小型軽量化を実現、ラベル方式で取り付けも容易にした「自鳴式万引き防止システム」用ミニタグの販売を、7月1日から開始する。自鳴式万引き防止システムは、商品に取り付けたタグと出入り口に設置したゲートシステムの両方からアラーム発報するダブルセキュリティ方式で、より高いセキュリティ効果を発揮するシステムである。

今回、自鳴式万引き防止システム国内大手の同社が開発・販売を開始する自鳴式ミニタグ『WT4S』『VS4S』は、従来の「自鳴式タグ」に比べて、容積で約半分、重さ約60%と、日本最小クラスの小型・軽量化を実現（同社製品比）これまで取り付けの困難だった小物類の商品への取り付けが可能となった。また従来のワイヤー方式加えて、新たにラベル方式も採用することで、箱・円筒状の商品への取り付けも容易となり、より確実に多くの商品の不正持ち出しを防止できる。さらに、同社製品アンチボルスシリーズのゲートをそのまま使用できるので、すでに「アンチボルスシリーズ」を使用している店舗では、設備を追加することなく「自鳴式ミニタグ」を導入でき、低コストでより高いセキュリティ効果を発揮することができる。

小売業における万引き被害は犯行の悪質化、巧妙化が目立ち、増加の一途を辿っており、小型軽量化とラベル方式による自鳴式タグのニーズは高まっている。「自鳴式ミニタグ」の市場投入により、同社が高いシェアを持っているホームセンター、家電量販店に加え、スーパーブランド店、百貨店、GMS、ドラッグストア、メガネ店、靴店などをはじめ、海外（ヨーロッパ、アジア地区など）への輸出についても販売の強化を図っていく方針である。

今回、株式会社エスキューブが「自鳴式ミニタグ」を発売するにあたり、初年度売上をゲートとのトータルシステムとして3億円を見込んでいます。

自鳴式ミニタグ『WT4S（ワイヤー式タイプ）』『VS4S（ラベル式タイプ）』の特長は次のとおり。

- ・『WT4S（ワイヤー式タイプ）』（服飾店、ホームセンター、カー用品店、スポーツ店、靴店など向け）
- ・『VS4S（ラベル式タイプ）』（PC、家電販売店、靴店、メガネ店、ドラッグストア、ホームセンターなど向け）
- ・従来品と比較して容積で約半分、重さ約60%の小型・軽量化を実現
- ・タグとゲート両方から警告音を発報
- ・タグ本体にLEDを内蔵、鳴っているタグが一目でわかる
- ・ラベル検知方法を採用することにより、曲面等の商品に取り付けが可能
- ・タグの解除には専用のリモコンキーで操作も簡単
- ・タグ自身にID機能搭載、他店のリモコンキーでは解除できない
- ・同社「アンチボルスシリーズ」のゲートを使用している店舗では、そのまま「自鳴式ミニタグ」を導入でき、従来品との併用で、より高いセキュリティ効果を発揮する。

価格は次のとおり。

- ・ WT4S (ワイヤー式タイプ) 1,200円
- ・ VS4S (ラベル式タイプ) 1,000円 貼付ラベル 12円

形状は次のとおり。

- ・ WT4S (ワイヤー式タイプ) 48.3×18.0×10.1mm 重さ 9.9g
- ・ VS4S (ラベル式タイプ) 40.6×18.1×10.3mm 重さ 9.5g

自鳴式万引き防止システムの概要は次のとおり。

商品に取り付けられたタグ本体が警告音発信機能を持ち、店の出入り口に設置されたゲート・アンテナに反応して警告音を発する、というのがエスキューブが開発した自鳴式万引き防止システムである。この方法だと不正持ち出しをした当人が特定でき、他のお客に迷惑、不快感を与えることはない。店内でタグをはずした場合にも、その場でタグが警告音を発する。

ゲート・アンテナ付近で警報音が発せられた場合には、リモートアラーム（オプション）で事務所やレジなど離れた所でも発報を確認できるので、素早く作動タグを確認することができる。警告音を確認された場合には「精算はお済みですか？」とか「申し訳ありませんが、タグのはずし忘れかも知れませんが確認させていただけますか？」など声をかけることができる。万一、万引きの場合でも"お買い上げいただく"なり"商品を回収"するなど現場に応じた対応が可能である。

(2003・6・20)